

チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】

やさしい子 ・ 考える子 ・ 元気な子 ・ やりぬく子



発行者：校長 岡田 達也



～ 園が お かが やき かんばる 学校 おう えんだん 「チーム北川」～

北川っ子のパワー 全開!

2月19日(金)の給食時に、学校給食センターの学校訪問があり、所長さんたち6名の方が来校されました。子どもたちが給食を準備する様子を見ていただいた後、2年生と5年生の学級で一緒に給食を食べていただきました。併せて、給食指導もしていただきました。



2年生と5年生の子どもたちは、センターの方々と一緒に給食を食べることがうれしくて仕方なかったようです。みなさんが教室に入って来られるとすぐに周りを取り囲み、進んであいさつし、どんどん話しかけていました。その子どもたちの積極性、パワーにみなさんも少々圧倒されている様子でした。さすが北川小学校の子です。持ち前の「人なつこさ」を発揮し、どんどん関係性をつくっていきます。見ていた担任も私も、思わず笑顔になりました。来校されたみなさんも、楽しそうに子どもたちとコミュニケーションを取ってくださいました。



給食指導では、2年生は「黄・赤・緑の食べ物」、5年生は「骨の大切さ」について分かりやすく教えていただきました。子どもたちにとって、普段何気なく食べている「食」について深く考えるよい機会となりました。

先週は、学校給食センターの学校訪問だけでなく、来校者の多い週でした。そこで、子どもたちの全体的な課題も見えてきました。来校された方々に自分から進んであいさつする子が、まだまだ少ないということです。通学時のあいさつもまだまだ十分ではありません。あいさつがまだまだ「当たり前」になっていないということだと思います。

そのため、19日(金)の打合せでは「進んであいさつする」ことをどの学年でも再度指導することを確認しました。その甲斐あってか、給食センターのみなさんへは自分から進んで、明るく、元気にあいさつする子どもたちをたくさん見ることができました。できれば、言われなくても、いつでも、どこでも、自ら考え判断して行動できる子になってほしいのですが。この点は、学校だけでなく、家庭や地域のみなさんのお力をお借りしながら取り組んで参りたいと思います。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



感じたことを素直に表現!

学校では、子どもたちの「わかる」「できる」授業を実現するために、教員の授業力や指導力を高める校内研修を計画的に行ってきました。19日(金)の3校時に、本年度最後の研究授業を、4年生で行いました。

音楽の授業で、ねらいは、「ファランドール」を鑑賞し、そのおもしろさの秘密を見つけることでした。子どもたちは、強弱や速度の変化、調性の変化を一生懸命感じ取ろうと頑張っていました。そして、感じ取ったことをみんなにしっかりと伝えていました。

